

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
320226	X-21-B-3-320226	1	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択	4年	
授業科目				担当教員	【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	4年
ロシア語7b	ライーサ プラール			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	

授業目的

ロシア語会話における新しい文法形態、語彙、その利用について学習する。コミュニケーションと音の技能、ロシア語の会話を聞き理解する能力を向上する。日常会話に関連した短い文の読み書き能力を発展させる。いくつかのロシアの象徴と生活習慣を学習する。毎回、時間を割いて映画、歌、アニメ、現代ロシア文化を紹介する。

各回の授業内容

<b>第1回</b> 【授】 テキスト第8課(2) ダイアログ、会話練習 【前・後】 予習・復習1時間 <b>第2回</b> 【授】 テキスト第8課(4) 文の読み、翻訳 【前・後】 予習・復習1時間 <b>第3回</b> 【授】 テキスト第9課(2) ダイアログ、会話練習 【前・後】 予習・復習1時間 <b>第4回</b> 【授】 テキスト第9課(4) 文の読み、翻訳 【前・後】 予習・復習1時間 <b>第5回</b> 【授】 ビデオ 【前・後】 レポート <b>第6回</b> 【授】 テキスト第10課(2) ダイアログ、会話練習 【前・後】 予習・復習1時間 <b>第7回</b> 【授】 テキスト第10課(4) 文の読み、翻訳 【前・後】 予習・復習1時間 <b>第8回</b> 【授】 テキスト第11課(2) ダイアログ、会話練習 【前・後】 予習・復習1時間	<b>第9回</b> 【授】 テキスト第11課(4) 文の読み、翻訳 【前・後】 予習・復習1時間 <b>第10回</b> 【授】 テキスト第12課(2) 練習問題 【前・後】 予習・復習1時間 <b>第11回</b> 【授】 ミニテスト 【前・後】 予習・復習1時間 <b>第12回</b> 【授】 テキスト第1課(1) 電話で話す 文法 【前・後】 予習・復習1時間 <b>第13回</b> 【授】 テキスト第1課(3) 練習問題 【前・後】 予習・復習1時間 <b>第14回</b> 【授】 テキスト第3課(2) 練習問題 【前・後】 予習・復習1時間 <b>第15回</b> 【授】 レポート準備 【前・後】 予習・復習1時間 <b>第16回</b> 【授】 学期末レポート 【前・後】 レポート作成2時間
--	---

成績評価方法

定期試験 65%、小テスト 20%、授業態度 15%で評価する。授業内小テストやレポートのフィードバックとして全般的な講評を行う。

教科書・参考書

A. ディボフスキー、北岡千夏 「会話で学ぶロシア語」 中級1 フェニックス出版 2004  
 A. ディボフスキー 「会話で学ぶロシア語」 中級2 フェニックス出版 2002 (プロジェクト)  
 会話編等のプリントを教員が配布する

受講に当たっての留意事項

欠席率が授業数3部の1を超えると受験資格がなくなる。宿題が毎回出る。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
×		○

学習到達目標

ロシア語の高度な文法とロシアの知識を習得し、会話能力を身につけること。高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会なる多文化状況にあってポジティブに協動的にネットワークを拡張していく意欲と能力を獲得すること。

JABEE

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習